

市長施政方針

(はじめに)

昨年、我が国においては、年平均の有効求人倍率が1.40倍、年平均の完全失業率が3.1%と、ともに20数年ぶりの良い水準となり、雇用環境の改善がみられました。

昨年12月に出された国の経済見通しによれば、平成28年度は、雇用・所得環境の改善により、経済の緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費や民間設備投資は、所得・収益の伸びと比べ、力強さを欠いた状況であるとしております。

また、平成29年度は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などの先行きリスクはあるものの、雇用・所得環境の改善による民需を中心とした景気回復や、それに伴う物価上昇によるデフレ脱却の進展が見込まれております。

直近の日本銀行の報告によれば、概ね各地方においても、緩やかな回復が続いているとしており、新大統領が就任した米国の動向により先行きが見通しにくい状況ではありますものの、今後の更なる景気回復を期待しているところでございます。

しかしながら、人口に目を転じますと、昨年10月に公表された平成27年国勢調査の確定値によれば、我が国の人口は、5年前の前回調査より約96万人少ない1億2,709万4,745人となり、大正9年の国勢調査の開始以来、初めて減少いたしました。

その内訳を見ますと、人口が増加した自治体は、都道府県では47のうち8、市町村では1,719のうち300しかなく、引き続き、首都圏や政令市などの一部都市圏への人口集中傾向が続いております。

また、本市における人口は、5年前の前回調査より約2,700人少ない2万4,339人、人口減少率は、県内市町で3番目に大きい数値である10.0%となりました。

人口減少は、全国的な課題であるとともに、本市にとって、引き続き、最も重視すべき課題でございます。

昨年7月の参議院議員選挙で、鳥取県と島根県、徳島県と高知県が合区として、ひとつの選挙区として執行されたように、既に現状を踏まえた社会的な変化が生じており、人口減少問題は、新たな段階に進みつつあると認識しております。

我が国も、また、本市も、今後も人口減少傾向で推移することが推計で見込まれております。

こうした中、豊かで美しい我々の国土やふるさとを次世代に引き継いで行くためには、現在の人口減少傾向の改善を強力に進めていかなければなりません。

国においては、過去最大となる9兆7,547億円の平成29年度当初予算を編成し、「一億総活躍社会の実現」や「経済再生」などを進めていくこととしており、そこには、地方財政計画の歳出枠として、1兆円の「まち・ひと・しごと創生事業費」や、1,000億円の「地方創生推進交付金」が、引き続き確保されております。

また、県は、来年度の県政運営方針において、「広島からの地方創生」として、施策の基

本的方向のひとつとして「豊かな地域づくり」を掲げ、中山間地域における人づくりなどに取り組むこととしております。

このように、国や県においては、俯瞰的な立場から、引き続き、元気な地域づくりに向けた施策を打ち出してしております。

基礎自治体である我々としては、国や県と連携を図りつつ、危機感と主体性を持って、本市の人口減少傾向の改善を図り、明るい将来像を築いていくための取組を進めなければならないと決意しているところでございます。

(予算編成方針)

本市は、平成26年度に、「市民満足度の高いまちづくり」と「未来を切り開くまちづくり」を基本戦略とする「第2次総合計画」を策定しております。

また、平成27年度には、「人口ビジョン」とともに、「縁」を重点的なキーワードとする「総合戦略」を策定しております。

これらはともに、本市の人口減少に対する危機感と、それを打破するための取組を推進していくという信念に基づいております。

全国的な人口動向を見ても分かるように、人口減少傾向の改善は容易に成し得るものではありません。

しかしながら、挑戦のないところに、決して成果は生まれません。

平成29年度予算は、私の市長就任後、最初の予算となります。

来年度におきましては、『ワクワクできる島』えたじま」づくりに向け、私の所信表明で申し上げた、「しごとの創出」「子育てしやすい環境づくり」及び「健康寿命の延伸」の3つを重点テーマとして掲げつつ、これまで築いてきた成果を活かし、新たなチャレンジを重ねることにより、人口減少傾向の改善に、全精力を持って挑戦してまいりたいと考えております。

それでは、重点テーマであります「しごとの創出」、「子育てしやすい環境づくり」及び「健康寿命の延伸」についてでございます。

まず、1点目の「しごとの創出」についてでございます。

6次産業化や地産地消に取り組むための協議会の設置や戦略を策定する「6次産業化対策事業」や、市内において新たに起業する中小企業者及び新規創業者に対する支援を行う「起業支援事業」、廃校施設の跡地を活用した企業誘致を図る「しごとの場創出事業」など、市内に新たな「しごと」を創出するための取組を盛り込んでおります。

また、観光関連産業の活性化の起爆剤となるよう、老朽化した本市の宿泊観光施設について、新たな施設の整備に取り組む事業者を募る「魅力ある宿泊観光関連施設整備事業」を盛り込むとともに、創出した「しごと」と求職者をマッチングする「無料職業紹介所事業」を盛り込んでおります。

これらにより、市内に新たな「しごと」を生み出し、市内で働きたいと希望される方と結びつけることにより、産業の活性化と定住人口の確保を図ってまいります。

次に、2点目の「子育てしやすい環境づくり」につきましては、妊婦が市外の産科へ通院する際の交通費を支援する「妊婦健康診査交通費等助成事業」のほか、新たに、子どもの通学費を支援する「定住促進通学費支援事業」や、市内定住者の奨学金の支払いを支援する「定住促進奨学金返還支援事業」の導入など、子育て世代の負担を軽減する取組を盛り込んでおります。

また、安心して子どもを託すことができる保育サービスの提供を図る「(仮称)認定こども園えたじま新築工事」や、ICTによる教育環境を整えることにより本市の児童生徒の学力向上を図る「校内無線LAN整備工事」、さらには、本市ならではの自然環境教育を実施する「里海学習推進事業」など、安心かつ豊かな教育を提供する取組も盛り込んでおります。

これらにより、「子どもを産みやすい、子育てがしやすい」と実感できる江田島市づくりを推進し、本市、我が国の将来を担う宝である人材を育ててまいります。

最後に、3点目の「健康寿命の延伸」につきましては、「生活習慣病健診事業」や「がん検診推進事業」、「予防接種事業」など、疾病の予防や早期発見、早期治療により、重症化を予防するための取組を盛り込んでおります。

また、市民の皆様の主體的な健康づくりの指針となる「第3次健康えたじま21計画」や「第2次食育推進計画」の策定、いきいき百歳体操や認知症初期集中支援チームの設置による介護予防の更なる推進、老人クラブやシルバー人材センターの活動支援など、高齢者を含む市民の皆様の健康な暮らしづくりを推進するための取組を盛り込んでおります。

さらには、民生委員・児童委員への活動支援や、見守り支援員による見守り活動を行う「安心生活創造事業」、在宅の一人暮らし高齢者等への緊急通報システムの設置など、高齢者の方の安心な暮らしを確保するための取組を盛り込んでおります。

これらにより、市民の皆様が、いくつになっても、健康で生き生きと、安心して地域で輝き続けることができる江田島市を構築してまいります。

以上、申し上げた3つの重点テーマを推し進め、本市の暮らしの魅力を高めることにより、本市の人口の自然増減や、社会増減の改善を図ってまいりたいと考えております。

なお、これらの施策を推進するに当たっては、本市の限りある財源・人員などの経営資源を、最大限、効率的かつ効果的に運用していく必要がございます。

これまで、本市は、将来にわたって持続可能な基礎自治体たるべく、職員定数の削減など、スリムで効率的な行財政運営を確立するための取組を進めてきたところでございます。

しかしながら、約40年後には人口が8千人台になると見込まれる、本市の深刻な人口減少傾向を鑑みると、これを好転させるには、本市全体で危機感を共有し、総力を持ってこれに当たるため、投資を伴う積極的な挑戦を行う必要があると考えております。

当面は、投資などによる歳出の増加が見込まれるため、取組に対する効果を見極めつつ、財政健全化にもしっかりと取り組んでまいります。

このため、平成29年度予算を推進するに当たっては、「第3次行財政改革大綱」に掲げる「選択と集中による事務・事業の重点化」を図りつつ、「第2次総合計画」、「総合戦略」

並びに「第2次財政計画」を一体のものとして着実に推進し、取組の実効性を高めてまいります。

今回の予算は、江田島市の人口減少傾向の改善に向けて、果敢に挑戦し、『ワクワクできる島』えたじまを築いていくことを第一においた予算としております。

このため、今回の予算は、『ワクワクする未来を創る予算』とすることができるのではないかと考えております。

(平成29年度当初予算の概要)

平成29年度の当初予算は、一般会計が前年度と比べ「1億円」0.6%増の158億5千万円となりました。

また、特別会計は9会計で、前年度と比べ「6千5百万円」0.7%減の89億9千2百万円、企業会計は2会計で、前年度と比べ「3億8百万円」9.9%増の34億2千3百万円となりました。

企業会計を含む総予算規模は282億6千5百万円で、前年度比1.2%の増でございます。

一般会計の内容を歳入から見ますと、市税では、個人所得割額の増による個人市民税の増加があるものの、法人税割の減による法人市民税の減少、固定資産税の減少などにより、前年度と比べ1千2百万円(▲0.5%)の減、地方交付税は、普通交付税で合併特例加算の縮減が開始され3年目となり、縮減額が二分の一と大幅になるものの、支所に要する経費の加算、消防費やその他の教育費など、基準財政需要額の算定見直しなどを考慮し、前年度と比べ、2億5千万円(▲3.7%)の減を見込んでおります。

国庫支出金は、国庫負担金で生活保護費負担金の減少があるものの、国庫補助金で、土木費国庫補助金の社会資本整備総合交付金の増加、教育費補助金の学校施設環境改善交付金の増加などにより、8百万円(0.6%)の増、県支出金は、県補助金で、総務費県補助金の減少や農林水産業費県補助金の減少などにより5千2百万円(▲5.8%)の減となっております。

市債は、臨時財政対策債が減少したものの、公共施設再編整備事業、保育施設整備事業、消防庁舎建設事業などの普通建設事業費の増加などにより、前年度と比べ4千5百万円(1.9%)の増となっております。また、合併特例債の発行額は、ほぼ前年度並みとなっております。

なお、財源調整として、前年度と同様、基金の取り崩しを行っており、今回の予算では、財政調整基金から6億3千万円を見込んでおります。

一般会計におけるプライマリーバランスは赤字となり、平成29年度末の市債残高は、平成28年度末に比べ、4億1千3百万円増加する見込みでございます。

歳出におきましては、義務的経費は、市債元利償還金の増により公債費が増加したものの、給料及び共済費の減により人件費が減少し、また、生活保護費の減などにより扶助費が減少したことから、全体で1億3千7百万円(▲1.9%)の減となっております。

投資的経費については、漁港機能保全工事、道路維持・道路改良、都市下水ポンプ場等の設備改修に係る社会資本整備総合交付金事業の増に伴い、補助事業が1億5百万円

(28.4%)の増、(仮称)能美市民センター耐震補強及び大規模改修工事、(仮称)認定こども園えたじま新築工事など、公共施設再編整備事業、保育施設整備事業などの実施に伴い、単独事業が1億3千6百万円(6.5%)の増、港湾建設事業県負担金などの減少により県営事業負担金が1億3百万円(▲49.2%)の減で、全体で1億2千7百万円(4.7%)の増となっております。

補助費等については、通学定期券購入補助や奨学金返還支援補助など、新たな補助制度の創設や、まちづくり団体への補助内容の充実、また、下水道事業会計への繰出し(補助)の増加などにより、1億1千9百万円(6.0%)の増、繰出金については、地域開発事業特別会計への繰出しの減少などにより1千6百万円(▲1.5%)の減となっております。

(主要施策)

それでは、平成29年度の主な事業について、第2次総合計画に掲げる7項目の施策体系ごとに、新規・拡充事業を中心に説明いたします。

まず、1点目の、教育・文化部門である「人が育ち、輝くまち」についてでございます。

- ① 子育て世代の負担を軽減し、本市の教育環境の充実を図るため、本市を発着点とする公共交通機関である船舶・バスの通学定期券の購入を支援いたします。

(事業名：【新規】定住促進通学費支援事業)

※「平成29年度江田島市当初予算案の概要」(以下「予算概要」)P6, 29

- ② 学校の校務処理の平準化・効率化や、多角的な情報活用等を図るため、ICT機器を活用した校務支援システムを導入いたします。

(事業名：【新規】ICT活用事業) ※予算概要P6, 41

- ③ 大柿高校の教育の振興や活性化を図り、入校生を確保するため、公営塾の運営や県内外生徒の下宿に要する経費を支援いたします。

(事業名：【継続】大柿高校魅力化事業補助金) ※予算概要P6

- ④ 小学校での英語科の実施に向け、外国語指導助手を増員するとともに、中学生が英語検定を受検する際の費用を助成いたします。

(事業名：【拡充】外国語指導業務委託料) ※予算概要P6, 46

- ⑤ 児童生徒の学力の向上を図るため、ICT教育モデル校である中町小学校と大柿中学校において、無線LAN環境を整備し、タブレットやデジタルペンを活用した授業を円滑に実施いたします。

(事業名：【新規】校内無線LAN整備工事) ※予算概要P6, 42

- ⑥ 海辺の生物の調査観察活動や自然環境への関心を高め、ふるさとの自然を大切に育てるため、里海学習を実施いたします。

(事業名：【継続】里海学習推進事業) ※予算概要P6

- ⑦ 市民がふるさとの良さを再発見し、愛着を醸成する機会を提供するため、歴史を題材とした講座の開催や、文化財情報の整理及びデジタル管理などを実施いたします。

(事業名：【新規】ふるさと再発見事業) ※予算概要P6, 42

次に、2点目の、産業・観光部門である「元気な産業・観光を生み出すまち」についてでございます。

- ① 意欲ある農業・漁業就業者の確保と育成を図るため、農業研修の実施や、農業・漁業研修修了者が独立する際に必要な経費を支援いたします。
(事業名：【継続】新規漁業就業者支援事業補助金) ※予算概要P7
(事業名：【継続】新規就農者支援対策事業費補助金) ※予算概要P7
- ② イノシシなどの有害鳥獣に対する心配ごとや困りごとに対する相談窓口を新たに設置し、初期対応を充実いたします。
(事業名：【新規】イノシシ110番の設置) ※予算概要P7, 34
- ③ 江田島市社会福祉協議会内の無料職業相談所の運営を支援し、「しごと」と求職者のマッチングを図ります。
(事業名：【継続】無料職業紹介所事業) ※予算概要P7
- ④ 農水産物の6次産業化や地産地消に戦略的に取り組むため、関係機関からなる協議会を設置するとともに、6次産業化の推進戦略を策定いたします。
(事業名：【新規】6次産業化対策事業) ※予算概要P7, 35
- ⑤ 新たな「しごと」の創出を図るため、市内において新たに起業する中小企業者及び新規創業者に対する支援を実施するとともに、廃校施設の跡地を活用した企業誘致を実施いたします。
(事業名：【継続】起業支援事業補助金) ※予算概要P7
(事業名：【新規】しごとの場創出事業) ※予算概要P7, 36
- ⑥ 本市の景観の魅力を発信し、交流人口の確保を図るため、インターネットを介して、リアルタイムに本市の景観映像を公開するライブカメラを設置いたします。
(事業名：【新規】ライブカメラ(景観カメラ)設置事業) ※予算概要P7, 37
- ⑦ 本年3月をもって休館する、国民宿舎能美海上ロッジに代わる新たな宿泊観光関連施設の整備に取り組む事業者を募り、えたじま観光の拠点づくりを図ります。
(事業名：【新規】魅力ある宿泊観光関連施設整備事業) ※予算概要P7, 37

次に、3点目の、福祉・保健部門である「健康で安心して暮らせるまち」についてでございます。

- ① 子育て世代の負担を軽減し、U I Jターンによる移住を促進するため、本市居住者が返還する奨学金の支払に要する経費を支援いたします。
(事業名：【新規】定住促進奨学金返還支援事業) ※予算概要P8, 30
- ② 需要が高い障害者就労継続支援A型事業所の市内への開設を促進するため、事業者が要する施設整備費等を支援いたします。
(事業名：【新規】障害者施設整備費等補助金) ※予算概要P8, 32
- ③ 保育施設の再編による受け入れ人数の増加や、保育サービスの統合への対応を図るため、(仮称)認定こども園えたじまを新築いたします。
(事業名：【新規】(仮称)認定こども園えたじま新築工事) ※予算概要P8, 33
- ④ 「健康寿命も平均寿命も日本一」の江田島市を目指すため、市民の皆様の主体的な健康づくりの指針として、「第3次健康えたじま21計画」や「第2次食育推進計画」

を策定するとともに、健康相談や運動教室などを開催いたします。

(事業名：【新規】第3次健康えたじま21計画の策定) ※予算概要P8, 33

(事業名：【継続】健康増進事業) ※予算概要P8

- ⑤ 次世代を担う子どもの誕生を応援するため、医療保険の適用がない特定不妊治療に要する経費を支援いたします。

(事業名：【新規】不妊治療支援事業) ※予算概要P8, 34

- ⑥ 疾病等の早期発見・早期治療により、健康な暮らしを確保するため、生活習慣病健診及びがん検診を実施いたします。

(事業名：【継続】生活習慣病健診事業) ※予算概要P8

(事業名：【継続】がん検診推進事業) ※予算概要P8

- ⑦ 市民の皆様の暮らしの安心を確保するため、江田島市社会福祉協議会との連携により、見守り支援活動や移動販売による買い物支援を実施いたします。

(事業名：【継続】安心生活創造事業) ※予算概要P8

次に、4点目の、生活・環境部門である「生活と環境を守り、高めるまち」についてでございます。

- ① 犯罪被害者の暮らしに寄り添うため、犯罪被害者の当面の生活に要する経費を支援するとともに、犯罪被害者支援活動員の養成を図ります。

(事業名：【新規】犯罪被害者等支援事業) ※予算概要P9, 32

- ② 人権問題やDVなどの相談対応能力の向上を図るため、相談員の養成及びスキルアップのための研修や講座を実施いたします。

(事業名：【拡充】相談員・協力員育成事業及び男女共同参画学習支援事業)

※予算概要P9, 45

- ③ 地球に優しい省エネルギー型社会の構築に向けて、住宅用太陽光発電システムの設置を支援し、普及を促進いたします。

(事業名：【継続】住宅太陽光発電システム等普及促進事業補助金) ※予算概要P9

- ④ 江田島市の美しい海と海洋資源の保全を図るため、景観及び環境悪化を招く海岸漂着ごみについて、回収・処理を行います。

(事業名：【継続】海岸漂着物等清掃業務委託) ※予算概要P9

- ⑤ 漁場環境の維持・回復を図るため、漁業操業時の海底ゴミの回収を実施いたします。

(事業名：【継続】海底ごみ回収事業) ※予算概要P9

次に、5点目の、安全・安心部門である「災害に強く、安心して暮らせるまち」についてでございます。

- ① 津波発生時の危険ゾーンを視覚的に周知するため、市内の主要道路の浸水想定境界地点に、路面標識のシール表示を実施いたします。

(事業名：【新規】津波避難見える化事業) ※予算概要P10, 31

- ② 将来の地域防災を担う人材を育成するとともに、保護者に対する防災意識の啓発を図るため、小学生及び保護者を対象とした防災キャンプを実施いたします。

(事業名：【新規】ジュニア防災リーダー養成事業) ※予算概要P10, 31

- ③ 災害時の被害軽減及び地域防災力の向上のため、防災資材の補充・整備を行うとともに、市民貸与のための防災資材を備蓄いたします。

(事業名：【継続】防災資材購入事業) ※予算概要P10

- ④ 法面崩落による人家への被害を未然に防止するため、急傾斜地崩壊対策工事を実施いたします。

(事業名：【継続】急傾斜地崩壊対策事業) ※予算概要P10

- ⑤ 必要な機能を保持したまま消防車両の集約化を図るため、大型化学高所放水車を整備いたします。

(事業名：【新規】大型化学高所放水車整備事業) ※予算概要P10, 40

- ⑥ 市内外の園児・小学生・保護者を対象とした消防イベントを開催し、幼年期からの防災意識の啓発を図るとともに、保護者に対し安全安心で住みよい本市をアピールいたします。

(事業名：【拡充】消防キッズフェア) ※予算概要P10, 46

- ⑦ 防災の拠点施設である、消防本部・消防署及び能美出張所の新庁舎の整備に向けた設計を実施いたします。

(事業名：【新規】消防庁舎建設事業) ※予算概要P10, 41

次に、6点目の基盤部門である「しっかりとした基盤を備えたまち」についてでございます。

- ① 将来の公共施設のあり方を見据え、ガイドライン等に基づき、必要な公共施設の再編整備を実施するとともに、計画的に原資を確保するための基金を新たに創設いたします。

(事業名：【継続】公共施設再編整備事業) ※予算概要P11

(事業名：【新規】公共施設整備基金管理費) ※予算概要P11, 43

- ② 公共交通の魅力高め利用者確保するため、交通事業者等が行う、公共交通の利便性の向上や利用者の増加を図る取組などの支援や、新年度から稼働する、ITを活用した交通情報の提供などを実施いたします。

(事業名：【継続】交通魅力アップ事業補助金) ※予算概要P11

(事業名：【継続】江田島市交通協議会負担金) ※予算概要P11

- ③ 専用車両を導入のうえ、道路・橋梁等のインフラ施設に対する定期点検パトロールを実施いたします。

(事業名：【新規】インフラ施設定期点検巡視パトロール車の配置)

※予算概要P11, 38

- ④ 新たな公園の役割や魅力を創出すべく、鹿田公園、江田島公園、能美運動公園、鹿川水源地公園、江田島市総合運動公園の5つの都市基幹公園等について、今後の整備内容や整備手法等の基本方針を検討いたします。

(事業名：【新規】鹿田公園外都市基幹公園等整備事業) ※予算概要P11, 38

- ⑤ 本市特有の住宅政策上の課題を明確化するとともに、住宅の確保その他の今後の具体的施策などを取りまとめる「住宅マスタープラン」の見直しを実施いたします。

(事業名：【新規】住宅マスタープラン策定事業(見直し)) ※予算概要P11, 39

- ⑥ 土砂災害等から、住民の生命及び身体の安全を確保するため、住宅所有者に対し、がけ地の崩壊などにより、住民の生命に危険を及ぼす恐れのある地区からの移転に要

する経費を支援いたします。

また、土砂災害特別警戒区域にある住宅・建築物の土砂災害対策改修工事に要する経費を支援いたします。

(事業名：【新規】がけ地近接等住宅移転補助金) ※予算概要P11, 39

(事業名：【新規】建築物土砂災害対策改修促進事業補助金) ※予算概要P11, 40

- ⑦ 市内の危険家屋の除却を促進し、安全安心な住環境を確保するため、所有者による危険家屋の解体に要する経費を支援いたします。

(事業名：【継続】危険家屋除却補助金) ※予算概要P11

次に、7点目の地域部門である「地域が元気で、にぎやかなまち」についてでございます。

- ① 江田島市の地域力の向上を図るため、まちづくりに興味のある市民が、地域活性化のための具体的な内容を協議し、自ら実行する取組を実施いたします。

(事業名：【新規】えたじま向上委員会事業) ※予算概要P12, 28

- ② 首都圏における本市との繋がりを広げていくため、本市と「縁」を有する在京者が起点となった、「縁」の拡大を図る取組を支援いたします。

(事業名：【新規】首都圏えたじま縁つなぎ事業) ※予算概要P12, 28

- ③ 交流による本市との新たな「縁」を創出し、かつ、地域の活性化を図るため、広島市との海生交流協定に基づく、本市イベント等への広島市民の招待や、体験型修学旅行の受け入れを実施いたします。

(事業名：【新規】縁づくり！えたじま海生交流事業) ※予算概要P12, 28

(事業名：【継続】体験型修学旅行受入事業) ※予算概要P12

- ④ 主体的な活動に要する経費を支援し、協働のまちづくりの更なる活性化を図るため、まちづくり団体の補助金を拡充いたします。

(事業名：【拡充】まちづくり団体支援補助金) ※予算概要P12, 44

- ⑤ 市場では取り扱われない空き家の掘り起しと流通促進を図るため、空き家を「思い入れのある財産」という視点で情報発信するウェブサイトを構築いたします。

(事業名：【新規】江田島空き家物語(仮)ウェブサイト構築事業)

※予算概要P12, 30

- ⑥ 都市部在住の意欲ある人材が、地域の課題解決や活性化を図る「地域おこし協力隊」を、配置する分野を拡充して登用いたします。

(事業名：【継続】地域おこし協力隊事業) ※予算概要P12

- ⑦ 本市の多文化共生社会の実現を促進するため、日本語教材や外国人向け図書の購入や、外国人市民の参加活動への支援などを実施いたします。

(事業名：【拡充】外国人支援事業) ※予算概要P12, 45

最後に、企業会計についてでございます。

- 水道事業については、安全でおいしい水の安定供給に努めるとともに、配水管の整備や老朽管更新事業を推進いたします。

(事業名：水道事業) ※予算概要P11

- 下水道事業については、持続的・効率的な下水道整備と維持管理に努めるとともに、健全経営を目指してまいります。

(事業名：下水道事業) ※予算概要P11

なお、

- 都市圏在住者や修学旅行生などとの「縁」の拡大や、地域おこし協力隊の登用
- 6次産業化や起業支援など、人が定着できる「しごと」づくり
- 通学費や奨学金など、子育て世代の負担の軽減
- ふるさとの良さの再発見や、里海学習の実施

などの事業は、「総合戦略」における、「縁」をキーワードとした重点プロジェクトの関連事業として位置付けられるものでございます。

また、これまで申し上げてきた施策に魂を入れ、血肉を通わせ、効果のあるものにしていくことが、江田島市職員の役割であり、使命でございます。

職員が意欲と熱意を持ち、一丸となって課題に挑戦していく「強い行政組織」を構築するため、他市町との人材交流や、職員研修の充実に積極的に取り組むことにより、江田島市の宝として磨き上げるべく、職員の人材育成や資質向上を図ってまいります。

今回の新規、拡充事業の内容につきましては、事業ごとに資料を作成したものを最後に添付しております。

以上が、江田島市の平成29年度当初予算の概要でございます。

昨年12月5日、第3代江田島市長に就任した以降、3ヶ月を迎えようとしております。

挨拶回りもようやく落ち着き、内部事務に時間を取れるようになってまいりました。

市民の皆様から『江田島市職員が市民の宝』と言って頂くことが私の夢であり、そう言って頂いたとき、江田島市は必ずいいまちになっている」と申し上げてまいりました。

今でも、素晴らしい職員がたくさんいることを知り、心から嬉しく思っております。

朝早く来て、自分の職場を掃除してくれる若手職員、土日休みにもかかわらず、他者のために仕事に従事してくれる職員、ボランティアでイベントに参加してくれる職員、江田島市の素晴らしさを歌にしてPRしてくれる職員、本気で江田島市をよくしていこうと思っている職員に接することができ、これからが楽しみであり、幸せであると感じております。

江田島市においては「公共施設等総合管理計画」「第2次障害者計画」「農業振興ビジョン」「第2期水産振興ビジョン」「観光振興計画」「空家等対策計画」など、今年度中に策定する計画が数多くございます。

コンサルタント任せではない、市の職員が汗をかく計画、江田島市らしさ・分かりやすさを感じることができる計画にしてまいります。

さらに、多くの懸案となっている行政課題がございます。

12月の所信表明でも申し上げました、施策を判断する基準についてでございます。

何事かを成そうとした場合、物事には、必ず様々な背景や事情があります。

しかしながら、私は、「江田島市、そして市民にとって何が最善か」という点を唯一の判断基準として、議会の皆様や市民の皆様と議論を尽くし、施策を進めていきたいと考えております。

場合によっては、これまでの物事の考え方や進め方を変えることが求められるかもしれません。

しかしながら、それを變えることが、市にとって、あるいは市民の皆様にとって、最善の道であるならば、果敢に變革に取り組んでまいりますことを申し上げ、新年度の予算説明とさせていただきます。